



カフェで調理をする恒樹さん。幼い頃から料理が好きで、新鮮な野菜を使って手際よく作る



妻や子どもたちも農業を通して自然と触れ合う



野菜の収穫は、カフェの開店前に行う

Profile

平成18年4月に就農し、妻・子ども3人と5人で暮らす。雪下キャベツ・ニンジンや葉菜類などの野菜50aのほか、リンゴ10aを栽培。妻の悦子さんも休日に農作業やカフェなどを手伝う。JA野菜部会や4Hクラブの一員でもある。モットーは「農業の魅力を感じてもらえるようなおいしい野菜を作りたい」。

野菜を「野菜」で食べる
無添加ドレッシング

4年前に、JA岩手県中央会が主催する「農産物加工特産品づくり実践セミナー」に参加した事を機に、加工品の製造を始めました。自慢のドレッシングをぜひ味わってみてください。



- 種類
にんじん味噌・りんご梅干・ミニトマト・黄にんじん豆乳・りんご豆乳/ジェルパ/葡萄と林檎のフルーティ
- 価格
各500円～(税込)
- 販売店
ファームプラス・市内の産直など

【コーナータイトルの由来】
「GREEN SOLDIERS」は「グリーンソルジャーズ」と読み、「農追い人」と併せ、「農業に夢や希望を持って働く人」という意味を込めています。毎月、若手農業者や新規就農者を紹介します。

趣味・マイブーム
息子たちと遊ぶ時間
作業の合間を縫って、自宅の庭で息子たちとキャッチボールなどをして楽しんでいます。
みんな野菜が大好きです。



農追い人

GREEN SOLDIERS

ひらか賀 ころき樹

花巻市

農業と野菜の魅力を伝えたい
夢を叶える場所「ファームプラス」

リンゴ畑と田園風景が広がる花巻市上根子。その一角に、畑と食がつながるカフェ「ファームプラス」がある。自宅の1階を改装したというオシャレなお店に伺うと、気さくな店主・平賀恒樹さんが出迎えてくれた。兼業農家で育ち、もともと農業と食に関心があったという恒樹さん。市内の古着屋で働いていた28歳の時、友達に農業のアルバイトを紹介された事がこの世界に飛び込んだきっかけだ。翌年には就農し、先輩農家を手伝い教わりながら、自分の畑で野菜を栽培。年々、面積を拡大してきた。37歳の時に中古物件を購入した事がきっかけで、平成28年10月には悲願のカフェをオープン。多くのめぐり合わせがあり、夢を叶えてきた。

カフェで使う野菜は、ほとんどが自家栽培。採れたてを味わえるのが一番の魅力だろう。恒樹さんは「初めて野菜をおいしいと思ったと言ってもらえる事が多い」と、うれしそうに話す。そんな野菜のおいしさや農業の魅力を感じてもらおうと、独自に農業体験を企画するほか、JAのグリーン・ツーリズムを受け入れている。農家の出合い系イベントやライブも行うなど、カフェが農業の魅力発信の大きな拠点となっている。

花巻野菜加工生産組合の一員として、農業仲間2人とともにドレッシングやしそ巻きの製造も行っている。今年3月には、自宅敷地内に新たに加工施設が完成。恒樹さんの野菜もドレッシングの原料の一部に使用し、カフェで味わう事ができる。

恒樹さんは「多品目栽培をして、加工品やカフェで使う野菜を増やしたい。おいしい野菜を作り、カフェを通して多くの人に、そのおいしさを伝えたい」と目標を話す。今日もまた、恒樹さんは笑顔で店に立つ。

ちょっといい話

畑と食がつながるカフェ ファームプラス

店主・平賀恒樹さんイチオシメニュー！

野菜ゴロゴロカレー 800円

素揚げした、旬の野菜をトッピング。グルーも自家製で、3時間炒めたタマネギを10種類のスパイスと塩だけで味付け。花巻産ひとめぼれを3分づきしたライスは、カレーによく合います。



白金豚と金時豆のタコライス 800円

白金豚を超粗挽きに。スパイシーでメキシカンな味付けのため、ご飯によく合います。女性に大人気！



- 住所 〒025-0043 花巻市上根子字下田630-2
- TEL 0198-33-0594
- 営業時間 午前11時～午後3時 (L.O.午後2時30分)
- 定休日 日曜日・水曜日
- 駐車場 8台



ぼらーの花巻 CONTENTS

02 農追い人	08 ぼらーのNEWS ● 地域の話
GREEN SOLDIERS	10 あぐりネット
04 特集	12 がんばる青年部/変わるJA
第3次中期経営計画の取り組み成果	13 旬の産直大百科/ぼらーの広場
	14 Information ● 理事会だより/監事会だより/役員室より
	16 私が先生あなたも先生 ● 編集後記

●No.255 / 令和元年(2019)5月号